

平成 28 年度事業報告

2016年度 法人の事業概況(主な報告)

2016年度は、社会福祉法人制度改革への対応、小樽地区の中長期計画に基づく事業着手、仁木地区においても現時点での課題及び拡大するニーズを踏まえた事業展開について議論を重ねてまいりました。事業展開と同時に担い手である人材の確保をどのようにすすめるかも大きな課題として同時に解決しなければならない重要事項となっています。

権利擁護の取り組みも浸透、定着し、職員一人ひとりも自信をもって仕事に向き合っております。支援者が専門性を問われる難しい課題にも積極的に取り組んでいる姿勢を評価する外部関係者からの声も聞きます。

昨年は、相模原やまゆり園で、凄惨な事件がありました。人間の生命と尊厳を否定するような行為を断じて赦すことは出来ません。恐ろしいことはこれに同調するかの様な意見が飛び交っていることです。「生きるに値しない命はない」との強い姿勢をもって「命と尊厳」を全ての人々と共有し実現できるよう法人理念である「一人ひとりが安心して共に生活できる福コミュニティの創造」を実現して行く取り組みを今まで以上に進めてまいります。この間、目に見える形での防犯対策は整えていませんが、これまでも行ってきた日常的な防犯対応を常に確認しつつ、効果的な対策に関する情報を収集・共有し、各事業所の特性を踏まえた対策の検討を重ねてきております。今後、利用される方の安心と安全を確保するための実効性のある対策を強化してまいります。

法人全体の経営・運営は、企画調整会議・施設長会議・運営会議・総務部長会議、および各種会議を軸に円滑に進めております。それぞれの責任を負う関係者には大変なご苦労をいただいております。このような会議を通して、様々な視点から法人全体に目が配られ、経営・運営にかかわる姿勢が共有され、法人の大きな財産にもなっています。

職員の専門性向上のためには、研修体系の充実と共に、自主的な学習と資格取得への挑戦が重要です。法人全体の研修、各事業所での研修は、全職員を対象にしつつ、外部研修にも個々の職員を積極的に派遣しており、資質向上を図っています。

新任職員には『知的障害を理解するための基礎講座』研修を奨励し全員が受講しています。勤務しながら介護福祉士等の資格取得を目指している職員も多くおり、資格取得祝金制度も制定しました。

人材育成、そして定着への一貫した対策と外部への情報発信は、人材確保へとつながります。そのような体制構築の協議も重ねてまいりました。

社会福祉法人の「地域における公益的な取組」を求められている時代です。これまでもさまざまな取り組みを進めておりますが、地域にある他の社会福祉法人と協力して、今日的な課題に向き合うことも重要であることから、法人連携に取り組んだ一年でもありました。新たな第一歩を踏み出すことが出来たと評価しています。

以下、重点推進項目との関連で主な事業について報告をいたします。

1、権利擁護の推進・安心身体介護・支援の運用

各事業所毎に、定期的開催される会議等で権利擁護に係る議題を取り上げるとともに、法人共通の確認事項を共有し、支援姿勢の確認を行っている。個別的に対応すべき事例については、直接的な育成指導を行っている。職員のセルフチェック・体制整備チェック等を通して、権利擁護を推進する意識を繰り返し喚起しています。又、職員が安心して支援に取り組めるように「安心身体介護・支援」の運用を見直し、緊急回避的は支援を記録・報告し、集積分析した上で個別支援計画に反映させる取り組みを進めています。これによって職員が日常的に戸惑い不安になることを防ぎ、支援姿勢・方法の共有化を図ることが出来ました。

2、重点目標の徹底と共有

職員としての姿勢・権利擁護・リスク管理を徹底するために、研修委員会・リスクマネジメント委員会が中心になり、職員ガイドブック・安心と笑顔の手引・リスク重点目標を活用して毎月の重点目標を一覧表にして、職員会議等で全職員に周知しました。

過去にあった重大事件や事故も時と共に風化してしまいます。『生命と尊厳』をまもる職員としての在り方を繰り返し思い起こすことで、利用される一人ひとり方の生活を守る姿勢を共有・徹底することができました。

3、中期事業計画の推進

仁木地区においては、個室化推進、建物の老朽化、高齢化に伴う作業検討、利用者重度化に伴う消防設備の必置、自閉症利用者の利用希望増等々への課題を踏まえて事業所の移転、新設、再編について協議を重ねています。さまざまな課題が同時並行的にあり、中長期的な事業を計画化していくことが喫緊の課題です。

小樽地区においても、財務局の土地取得手続きを終え、共同援助事業の新築へ向けた工事が開始された。通所事業所の老朽移転の事業に伴う再編、発達障害系の通所事業所の設置計画が進められています。

以上の事業展開に伴う財務計画は慎重に進めていかなければなりません。利用率の向上を図る共に、増収増益を見込める事業展開も併せて展開していかなければなりません。

4、地域における公益的な取組

社会福祉法人制度改革に伴う法改正で、社会福祉法人には「地域における公益的な取り組み」を進めることが求められています。

法人としては、それぞれの地区の事業所において法制度上の事業と共に地域福祉の向上のために、さまざまな活動が進められています。福祉教育、地域福祉文化向上のための活動、高齢者・障害者を含む住民同士の交流促進、介護予防のための活動への協力、地域福祉活動推進のための事務局の担当等々その活動は多岐にわたっています。

又、小樽地区・仁木地区に、それぞれ相談支援事業所を設置運営をしているが、施設・サービスを利用する際の相談をはじめ、さまざまな相談に応じています。今日、相談家族が抱える生活課題は、重複複合しており、さまざまな関係機関とのネットワークを形成して問題解決にあたっています。いわゆる総合相談としての役割を果たしています。

これに要する費用及び時間と労力は大きなものがあるが、社会福祉法人の社会貢献の働きとして重要な役割を果たしていると同時に、地域社会全体の福祉の向上は、現在の法人事業の安定的運営にも寄与しています。

5、コミュニケーション面談の充実とメンター制度の実施

昨年に引き続きコミュニケーション面談を実施した。今年度は通所事業所の全職員を対象にして、地区を超えた管理者が他事業所の職員と面接をするという方式で行いました。面談で得られた内容・課題は、各所属長に報告をし、職員の提案、悩みについて対応すると同時に、法人にもその結果を報告し、法人全体で取り組むこととしています。

法人としての面談と同時に各事業所毎でも、所属長が管理下にある職員全員と面接を行いました。

面談に要する時間・労力に伴う負担は大きなものがあるが、このような機会を通して、職員一人ひとりと向き合うことは、職場全体で人を育てると同時に、法人全体の労務管理の在り方にも大きな示唆を得ることが出来ます。

新人職員には、先輩職員がメンターとなって仕事上のアドバイスをを行い、日頃の悩みを確認したり、都度気かけ新人職員が円滑に職場に定着する役割を果たしています。今年度から、メンターに1万円の範囲で、担当する新人職員との飲食に活用する制度を採り入れ少しづつ活用され、交流・親睦に大きな成果が生まれています。

6、ホームページのリニューアルと職員ハンドブックの改訂

法人姿勢・事業の「見せる化・見える化」を促進するためにホームページを全面的に新しくしました。法人の理念や歴史・事業概要・職員募集・各事業所の活動や情報がタイムリーに発信できるようにした。又、スマホ対応にし、いつでもどこでも内容を閲覧できるような仕様としました。求人情報サイトの「リクナビ」ともリンクさせることで、就職希

望の方にもホームページへ入りやすくし、法人の概要を詳しく伝えることが出来るようになりました。又、法人職員としての姿勢の確立と統一をはかるために「職員ハンドブック」を改訂しました。法人歴史の継承や職員姿勢の確立を図りつつ、法人職員として他者に説明する際にも活用できるような内容とし、全職員に配布をしました。

7、社会福祉法人制度改革への対応

社会福祉法人制度改革に伴う、法人の体制を再整備する必要から、理事構成・評議員構成、定款の改正、財務規律確立に向けて公認会計士による監査導入等々の準備を重ねてきました。法人役員・評議員の勉強会や各種説明会へ参加し情報の収集等を行い、新年度へ向けての準備を滞りなく進めることが出来たました。

8、社会福祉法人連携への取り組み

現時点では小樽市内に限定をしているが、市内21法人が連携して社会貢献活動に取り組むことを意図して、種別を超えた4法人(小樽市社会福祉協議会含)で懇談会を形成し、社会福祉法人が果たすべき今日的な役割は何かについて意見交換を行いました。

正式な協議体としての足掛かりを見出す意図をもって、関係法人に参加を呼びかけ、合同で「地域福祉フォーラム」を開催した。約300名の市民関係者が参加した。平成29年度の協議会の結成に向けての連絡体制を形成することが出来ました。

知的障害関係の後志地区にある法人が連携して「自閉症セミナー」を開催した。これまで後志報恩会主催で開催してきたものを、地区内の関係法人との連携の中で準備会を構成し、共同で自閉症・発達障害者への支援方法の普及と啓蒙啓発を意図して2回のセミナーを開催しました。

支援現場での悩みや、新しい視点を学ぶことが出来たと同時に関係法人の連携が深まり、地区全体の専門性を向上することが出来ました。

9、財務強化への取り組み

財務体質の強化は、法人の大きな課題である。運営会議等で都度財務状況の確認を行い「入るを増やし、出るを減らす」を基本に意識の共有を図ってきた。利用率の向上と利用者の確保が基本であるので、各事業所毎にその努力を重ねています。

中長期事業計画に基づき、必要な事業には取り組んでいかなければならない。将来の安定経営を目指し、職員処遇の改善を図りつつ、利用者ニーズにも応えていくためにも財務計画を共有していかなければならない。

今後の財務計画の基礎的な中長期計画の概要について具体的に協議出来ました。

10、野村 健 実践と思想 記念誌の発刊準備

銀山学園の創設者であり、後志報恩会の名誉会長でもあった「野村 健」が目指してきたものを現役世代と共有し、次世代にも継承しつつ、広く社会化することを目的に記念誌編纂を開始しました。法人理念「一人ひとりが安心して共に生活出来る福祉コミュニティの創造」は、野村健の強いリーダーシップの下で、地域住民をはじめ創設期職員が実践してきた中から生み出されたものでした。この背景となる考え方、精神を、野村がこれまで残してきた論文・文章から読み解き、一冊にまとめることで、広く後志報恩会が目指してきたこと、これから目指すべきことを伝え、時代、社会と共有できるものと考えている。平成29年秋には刊行出来る予定です。

（基本理念）

一人ひとりが安心して共に生活出来る福祉コミュニティの創造

～安心と笑顔でつなぐ みんなのしあわせ～

〔経営方針〕

1. 地域社会において、人と人が出会い、互いに喜びと痛みを分かち合って、生きいきとした生活（自己実現）を送ることが出来るような共生社会を創造するために、地域福祉の総合的推進と、福祉文化を形成することに貢献することを使命とします。
2. ノーマライゼーション理念に基づく生活を実現するために、利用する一人ひとりの地域住民としての選択と決定に基づく人生設計を支援し、生涯にわたる安心と満足を提供するために、法人の機能を有機的、且つ発展的に活用した事業展開を目指します。
3. 共生社会の実現と福祉文化形成の一翼を担う実践者としての職員が安心と充実感をもって仕事出来るような雇用環境を整え、その上で職員が人権意識に基づく質の高い支援を提供するために、育成と組織の活性化をはかるための取り組みを行う。

〔運営方針〕

1. 一人ひとりの尊厳の保障と生活の質の満足を向上する
～いきいきとした日常生活と人生～
 - ① 権利擁護を徹底する
 - ② 一人ひとりの想い共感し傾聴する
 - ③ 法人理念を共有し経営方針を実現する
2. 職員の満足と経営の満足を實現する
～いきいきとした職員と法人経営～
 - ① 社会福祉法人としての役割を果たす
 - ② 中長期事業計画に基づく事業展開をする

③ ガバナンスを保つ職員組織を形成する

3. 質の高い専門的サービスの充実促進

～いきいきとした喜びにあふれたサービス～

① 専門性の高い職員を育成する

② ボランティアに根ざす運営を実現する

③ 共に育ち合う組織風土を醸成する

2016年度 経営の視点

何を、社会福祉法人へ期待し、どのように生まれ変わるのか。

理事長 山崎 忠顯

かつて全国の新聞紙上において一部の社会福祉法人がひどく叩かれました。それは理事長の立場を悪用して社会的な不祥事を引き起こしたことに原因があります。全国で何人かの理事長が引き起こした社会的な問題を社会は容認しない。しかも日本経済新聞に社会福祉法人は財務に余裕があり、この余裕金をわが国の逼迫している財政の穴埋めに当てられないか、という声にまでなかって聞こえてきました。これでは社会福祉法人の日ごろから実践している児童・高齢・障害・発達・救護・母子・生保などの社会福祉多方面に関する、諸事業が否定されかねない、大変な問題であります。税金の対象にして課税の枠に入れようとしている、約 20,000 ある社会福祉法人にとって大問題である。

昭和26年戦後間もなく寄付文化を中軸とする GHQ の指導の下に誕生した法律は、キリスト教を母体とするアメリカの精神性が背後にあります。民間福祉事業等への公金の支出禁止を踏まえ生まれた社会福祉法人の制度は、民間福祉事業の安定化と拡大に大きく寄与したが、反面、公の管理化におかれることとなり、民間福祉事業の独自性が失われたとも言われる。このような経緯のある社会福祉法人が、結果として、法人の現況に立って、今後どのように生まれ変わるのか、という基本的な問題を再構築する運びとなり今国会に上程された訳です。かつて長い間継続された措置費時代に運営費は全て使いきらなければならず、年度末に0円に近いほど良い運営がされたと見なされた時代がありました。今考えると不思議な時代です。しかし徐々にではありますが時代の変化は、間違いなく社会福祉に良い方向に進んでいるとは思いますが。

ただし先に述べたような不祥事間を引き起こす余地がまだまだ残っていることや、社会福祉の実践や理念に関することで、あまりにも社会福祉法人経営者の感覚のズレが問題です。

そこでわたし達、社会福祉法人は自らの襟を正すことや、そのための在るべき姿の証明をしなければなりません。少し難しくなりますが、いままで多くの社会福祉法人はあれをしている、これもしているといった自己の宣伝が苦手で、そのようなことは当たり前のこととして法人内の事業として収めてきました。言葉を代えますとこれからは、地域社会のなかで社会福祉法人としてふさわしい多様な事業や、困りごと相談のような枠を広げた事業にして

いくことや、第三者から見ても納得が得られるように財務規律の公開を、積極的にホームページ等用いてすることがあげられます。

人材の確保は今やどの法人にとっても大きな課題です。人口減、少子高齢化、福祉離れの社会状況にあって、よほど大胆ともいふべき法人の改革が望まれます。その基本的なことに閉ざされた事業から、開かれた事業への進化が望まれます。

2016年度 運営の視点

『同じ』と『違う』

～日々のハウレンソウ（報告・連絡・相談）が社会を変える視点～

総合施設長 阪口 光男

今日、世界的な傾向として、障がいのある人を社会的に分離することは社会連帯と社会協同のモラルに反するという考え方が主流になり、社会の中で労働の担い手としても参加してもらえよう環境整備をするというインクルーシブな社会の実現を目指すことで社会全体も発展すると叫ばれるようになりました。社会全体で全ての人が人権という『同じ』を共有し、それぞれの多様性・個別性という『違う』を受容し、共同体化していることを意識しはじめたともいえるのです。

私たちの肢体(からだ)は、筋肉・骨・脳・神経・血液・循環器系・呼吸器系・消化器系腎尿路系・内分泌系・感覚器系・生殖器系等、実に複雑です。その仕組は、生命を維持するという意味では同じ役割をもっていると共に、又、異なる役割をもっているが故に共通の目的を達成することが出来るともいえます。それらは相互に係わり、それぞれが支えあっています。どれ一つとっても軽んじられるものはありません。『奇跡のリンゴの実』（無農薬）をならせる土の中には900という微生物があるといわれています。リンゴの栽培は農薬を使用しなければ無理とされていました。自然界にある一つひとつのものは異なるものが、それぞれが支えあい、かかわり合って全体の調和を保っています。この調和を実現することで、無理とされた無農薬リンゴを生み出すことに繋がったのです。私たちの社会は、ともすると異なるものを同じになるよう強要したり、異なるものを排除しようとする傾向があります。しかし、違いを違いと認め合い、相互に受け入れ、学びあうことでこそ、各々の成長を促し全体が豊かになることに気づかなければなりません。新しい文化を生み出す(アカルチュレーション)ためには、多様性と異質性を認め合い受け入れ合うことから始めなければならないのです。

組織を活性化するためには報告・連絡・相談〔ハウレンソウ〕が大事だといわれます。いつ報告し、なにを連絡し、誰に相談する等のことが社員教育等で、具体的に指導を受けます。それでも忘れてしまったり、一方的になってしまったり、不十分な内容であったり中々うまくいかないのも事実です。その根っこには「同じ」と「違う」の理解があるのではないか。組織の共通の目的「同じ」と、人は受けとめ方や感じ方等が「違う」ということをしっかり理解することで重要であり、そのことに互いが気づきあうことで〔ハウレンソウ〕も円滑に機能するのではないのでしょうか。「同じ」と「違う」を受け止めることで寛容さが生まれ、

配慮が育ち、重荷を引き受けあう姿勢が養われるのです。法人理念は「一人ひとりが安心して共に生活できる福祉コミュニティの創造」です。コミュニティ(重荷を負いあう)でケア(放っておけない)する姿勢が〔ハウレンソウ〕を強めるし、福祉社会を形成することにも繋がると確信しています。飛躍しているように思えるかもしれませんが、私たちの日々の関係のあり方が明日の社会のあり方を変えて行くのです。

平成 28 年度社会福祉法人後志報恩会経営計画

基本理念

一人ひとりが安心して共に生活出来る福祉コミュニティの創造
～安心と笑顔でつなぐ みんなのしあわせ～

経営理念

法人の中核的価値観(私たちの願い)

知的障がいというハンディキャップをもつひとたちが、地域住民皆さんの理解と支援のなかで、働ける人は働き、結婚できる人は結婚し、働けない人たちも地域を自由に散歩し、家庭訪問や買物ができるような地域づくりをしたい。

法人としての社会的使命

私たちは、生活上や社会生活において様々な支援を必要とする人たちへの福祉的活動を実践するとともに、それを支える地域づくりに貢献することを使命とします。

中期経営目標 (平成 28 年～32 年)

- ① 障害福祉サービスの実施内容の充実を図ります。
重度者支援・高齢者支援・自閉症発達障害支援・触法支援・就労支援・日中活動・在宅支援などの強化に努めます。
- ② 障害福祉サービスや施設環境の改善と整備を図ります。
施設の老朽化にともなう移転や修繕計画を策定します。また、入所やグループホーム等の環境を構造化、個室化するなど居住環境を整備します。
- ③ 施設・事業所が所在する地域において公益的活動の強化を図ります。
地域住民の生活課題や福祉ニーズの把握に努め、住民との共同を基盤とした社会貢献活動を推進します。
- ④ 職員の専門職化を強化、推進を図ります。
介護福祉士や社会福祉士などの公的資格の取得促進とキャリアパス制度の確立

を目指します。

⑤ 社会福祉法人としての組織の経営体質の改善と強化を図ります。

社会福祉法人制度改革を踏まえて、組織の統治や法令遵守、権利擁護の徹底、財政基盤の安定を図ります。その上に利用者には安心安全な環境を提供し、職員には生き生きと支援に取り組むことができる職場環境を構築します。

経営計画（平成 28 年度）

I 法人組織の見直し

① 社会福祉法人制度改革に基づき新たな法人組織への改編を図ります。	企画調整会議 法人本部事務局
② 法人本部の機能強化策を検討します。	法人本部事務局

II 施設整備計画

① 小樽地区 ・グループホームの建設に向けて土地の取得に向けて取り組みます。 ・就労支援事業を再編します。 ・就労支援事業所の老朽化にともない対応策を具体化します。 ・就労移行支援事業の強化について具体化します。(発達障害への対応など)	小樽地区会議 法人企画調整会議
② 仁木地区 ・入所施設の老朽改築や大規模修繕の計画を立案します。 ・グループホームの老朽化対策を具体化します。 ・自閉症支援の拠点化整備に向けて検討を開始します。	仁木地区会議 法人企画調整会議

III 組織の活性化

① 職員とのコミュニケーション面談を法人内の施設・事業所で実施します。	法人支援責任者会議
② 職員の参画の下に、施設・事業所の中期計画を策定します。	法人企画調整会議 仁木地区会議 小樽地区会議
③ 組織の活性化を図るため、次世代の管理職育成に向けて検討を開始します。	法人企画調整会議 (組織強化対策担当)

IV 人材育成と人材の確保

① 人材確保への総合的対策の推進について検討を開始します。	法人施設長会議
② 自閉症支援や就労支援、高齢期支援などの専門職研修の階層的計画を策定します。	法人研修委員会
③ 前年に引き続き、権利擁護の具体化や法令順守の徹底に向けて研修を実施します。	権利擁護推進会議 法人研修委員会

④ 新任職員の基礎講座(日本知的障害者福祉協会)の受講を支援します。	法人運営会議
⑤ 新任職員研修や年代別研修の基本的プログラムを策定し、実施します。	法人運営会議 法人研修員会
⑥ 福祉専門資格の取得に係る仕組みについて見直します。	法人運営会議

V 利用者支援

① 意思決定支援を踏まえた個別支援計画の改善に取り組めます。	法人支援責任者会議
② 自閉症等の利用者個々の特性を踏まえた構造化の一層の推進に取り組めます。	法人支援責任者会議
③ 高齢期に応じた保健と食生活の改善に向けて取り組めます。	法人医療・食生活支援委員会
④ 日中活動の再編や見直しについて具体化します。	仁木地区会議 小樽地区会議
⑤ 日々の利用者の変化についての情報共有を徹底するための体制を構築します。	法人支援責任者会議

VI 地域貢献

① 生活困窮などの一次的支援の具体化に向けて法人間の連携を図り、支援の具体化と実践に取り組めます。	法人企画調整会議
② これまで法人や施設・事業所で実践してきた地域活動について改めて整理し、組織としての取り組みを強化します。	法人企画調整会議

VII 危機管理

① 第三者評価の受審に向けて具体的作業にかかります。	法人運営会議
② 法人監事監査を含め内部監査を計画化し、実施します。	法人本部事務局
③ ヒヤリハット事例や事故報告の内容を検討し、個別支援計画への反映を図ります。	リスクマネジメント委員会 法人支援責任者会議
④ 感染症予防対策マニュアルの見直しを行います。	法人医療・食生活支援委員会
⑤ ストレスチェックの全面的実施について検討し、職員のストレスによる事故防止に努めます。	法人総務部科長会議

VIII 財務基盤の安定に向けて

① 施設・事業所の利用率の向上を図るなどの経営努力により事業ごとの経営的自立を図ります。	仁木地区会議 小樽地区会議
② 今後の中長期計画に対応した資金計画を立案します。	法人企画調整会議
③ 社会福祉法人会計基準に基づく適正な会計処理と資金運用に努めます。	法人総務部科長会議

法人組織

(理事会)

理事長	山崎忠顯
副理事長	阪口光男
常務理事	末澤弘道
理事	永富正
理事	渡淳
理事	富田重幸
理事	福森和千代
監事	藤山勝光
監事	曾場利夫

(法人の名称・所在地)

名称 社会福祉法人 後志報恩会
所在地 〒048-2335
余市郡仁木町銀山2丁目134番地
電話 0135-33-5311

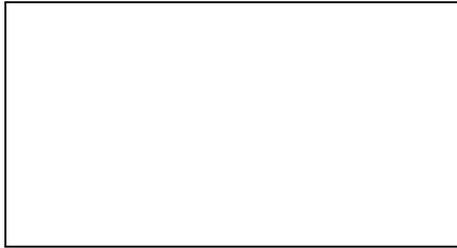
(法人本部事務局)

所在地 〒047-0156
小樽市桜4丁目6-2
電話 0134-51-5217
FAX 0134-52-3617

(評議員会)

評議員	河内正
評議員	土屋淑子
評議員	伊藤順子
評議員	村上昭一
評議員	荒関修
評議員	永富正
評議員	渡淳
評議員	富田重幸
評議員	阪口光男
評議員	福森和千代
評議員	大洞忠義
評議員	瀬野淳一
評議員	川瀬紀幸
評議員	広木忠雄
評議員	永井英樹

総合施設長	阪口光男
副総合施設長	川瀬紀幸
和光学園	川瀬紀幸
銀山学園	渡辺周吾
大江学園	大洞忠義
シェアリング和光	小黒栄
ウイリング和光	永井英樹
陽だまり	渡朋仁
ウエルサポート和光	広木忠雄
えんれいそう	小菅敦
マリシップさくら	高橋雅人
ふきのとう	渡朋仁
長橋寮	高橋雅人
コタン	小菅敦
小樽市さくら学園	櫻井幸治
ひろば	金子宣裕
さぽーとひろば	金子宣裕
にき	橋本正一



(法人本部事務局)

事務局 長	瀬野 淳一
事務局 次長	白屋 嘉則
事務局 次長	永井 英樹
事務局 次長	板岡 宏教

法人経営・運営事業

【障がい者支援施設 障がい福祉サービス事業 地域生活支援事業】

銀山学園	仁木町銀山2丁目134番地	*施設入所支援 *生活介護 *短期入所(併設型) *日中一時支援
大江学園	仁木町大江2丁目457番地	*施設入所支援 *生活介護 *短期入所(併設型) *日中一時支援
和光学園	小樽市桜4丁目3番1号	*施設入所支援 *生活介護 *短期入所(空床型) *日中一時支援

【障がい福祉サービス事業 地域生活支援事業】

シェアリング和光	小樽市花園4丁目14番3号	*生活介護 *就労継続支援B型 *日中一時支援
ウイリング和光	小樽市桜4丁目3番1号	*生活介護 *就労継続支援B型 *日中一時支援
ウエルサポート和光	小樽市桜4丁目3番1号	*就労移行支援 *就労継続支援B型 *地域活動支援センターII型
陽だまり	仁木町銀山2丁目547番地	*就労継続支援B型 *日中一時支援

【児童発達支援センター】

小樽市さくら学園	小樽市桜2丁目11番16号(受託運営)	*児童発達支援事業 障害児相談事業 保育所等訪問支援
----------	---------------------	----------------------------

【老人デイサービス事業】

えんれいそう	仁木町銀山2丁目134番地	*通所介護事業 *介護予防通所介護事業 *生きがい活動支援通所事業
--------	---------------	-----------------------------------

【福祉ホーム】

マリシップさくら	小樽市桜4丁目6番1号
----------	-------------

【障がい福祉サービス事業(一体型共同生活援助事業所等)】

《仁木地区》	ふきのとう	仁木町大江1丁目365番地10
①ふれあい		仁木町銀山2丁目501番地4
②こぶし		仁木町銀山2丁目521番地14
③やすらぎ		仁木町北町1丁目88番地4

④すずらん	仁木町大江1丁目356番地10
⑤たんぽぽ	仁木町大江2丁目1114番地1
⑥くるみ	仁木町西町3丁目11番地
⑦すみれ	仁木町銀山2丁目501番地6
⑧ぽぷら	仁木町銀山2丁目179番地3

《仁木地区》 コタン 仁木町銀山2丁目10番地4

①ピリカ	銀山2丁目10番地4
②カムイ	銀山2丁目10番地5
③モシリ	銀山2丁目12番地2

《小樽地区》 長橋寮 小樽市長橋2丁目19番17号

①長橋寮	小樽市長橋2丁目11番7号
②やよい	小樽市桜2丁目32番25号
③らいと	小樽市桜2丁目32番23号
④みずき寮	小樽市桜1丁目2番134号 サム桜1丁目壱番館306号
⑤みずき寮②	小樽市桜1丁目24番9号ナチュラル102号
⑥信田寮	小樽市桜4丁目1番11号
⑦すばる	小樽市望洋台3丁目1番8号 望洋台ライフ住宅B1・B2
⑧ぴーす	小樽市桜4丁目1番15号
⑨ほーぷ	小樽市桜5丁目1番45号

【障がい者就業・生活支援事業】

ひろば 小樽市花園2丁目6番7号プラムビル3階

【地域生活支援事業（相談支援事業）】

さぽーとひろば 小樽市花園2丁目6番7号プラムビル3階

*一般相談支援事業 *特定相談支援事業 *障害児相談支援事業

に き 仁木町大江1丁目371番地

*特定相談支援事業

【共生型生活支援事業】

大江学園共生型生活支援センター 仁木町大江2丁目457番地30

【関連事業】

織物作業所織っ樽 小樽市花園4丁目14番1号

パンシヨップ和光 小樽市花園4丁目14番3号

レストランふれあい 仁木町銀山2丁目547番地4号

シヨップ陽だまり 仁木町銀山2丁目547番地4号

工房大江窯 仁木町大江1丁目371番地

法人の運営に関する事項

理事会

7名の理事、2名の監事をもって理事会を構成し法人経営、運営について協議・決定します。年に4回から6回の理事会を開催しています。

権利擁護推進会議

法人としての権利擁護推進のための仕組み・計画・実施の中核的役割を果たします。権利擁護対策並びに虐待防止対策の協議とその推進にあたります。

評議員会

15名の評議員をもって評議員会を構成しています。法人経営、運営についての諮問機関としての役割を持ち、理事会に先立ち開催します。

安心と笑顔支援委員会(虐待防止委員会)

各事業所・仁木地区・小樽地区・法人運営会議内に設置し、虐待防止対策を実施しつつ安心と笑顔あふれる支援を推進する役割を担います。

監事監査

年4回、法人各事業の経営・運営・財務状況についての全般についての監査及び預かり金監査を実施し、法人の円滑・健全な運営についての適切な助言を受けています。

安心身体介護支援委員会

身体拘束につながらない支援に向けて対策を協議し、PDCAサイクルに基づき支援の見直しを進めます。

法人企画調整会議

理事長・副理事長(総合施設長)・地区責任施設長・法人事務局等によって構成します。原則月1回開催し、法人経営・運営の方向性について協議します。

また、組織強化対策担当をおき、人材の確保と育成強化対策を検討します。

法人地区会議

仁木地区・小樽地区の事業所間での事業の円滑な遂行と仁木地区並びに小樽地区の中長期計画を検討するために調整・協議を定例に開催する。

法人施設長会議

総合施設長・施設長・管理者・法人事務局により構成し、サービス・経営・運営に係る計画の協議と推進について協議します。

支援責任者会議

法人各地区のサービス管理責任者によって定期的に開催し、個別支援計画を含む、実務上の調整・検討を行い、利用される皆様へのサービス向上を図ります。

リスクマネジメント委員会

各事業所内で発生するヒヤリハット事例の集約・分析及び事故発生を未然に防ぐための対策について協議するとともに第三者委員会との連携を図ります。

医療・食生活支援委員会

法人事業所の医療・栄養に関わる担当者が定期的に連絡調整を行い、感染症対策の充実と食育及び健康増進を図っています。

研修委員会

法人全体の職員の資質・技術向上をはかるための研修の企画・実行・調整・提案を行って行きます。係長研修・3年目・7年目・全職員等の各種の研修を実施します。

総務部科長会議

法人各地区（銀山・大江・和光）の総務部科長が定例月1回開催し、事務上の調整・検討を行い円滑な事業運営を支えます。

法人運営会議

施設長・支援部長・管理者・総務部長・法人事務局で構成し、事業運営、相互調整、諸課題の協議を定期的(月1回)に実施します。

苦情解決制度（虐待防止第三者委員）

利用されている方からの権利侵害・苦情に対して速やかに対応するため体制を整備し、権利侵害への対応、提案・要望についても意見を聞く機会を設け、利用される方への支援向上に反映させていきます。

グループホーム生活支援事業委員会

長橋寮、ふきのとう、コタンの代表者により、地域生活支援の課題と体制・方向性を検討します。グループホームの将来構想についても検討課題となっています。

在宅支援事業委員会

在宅支援体制の現状と課題を整理し、法人としての居宅介護事業や障がい児の在宅支援の方向性について検討します。

就労移行支援事業委員会

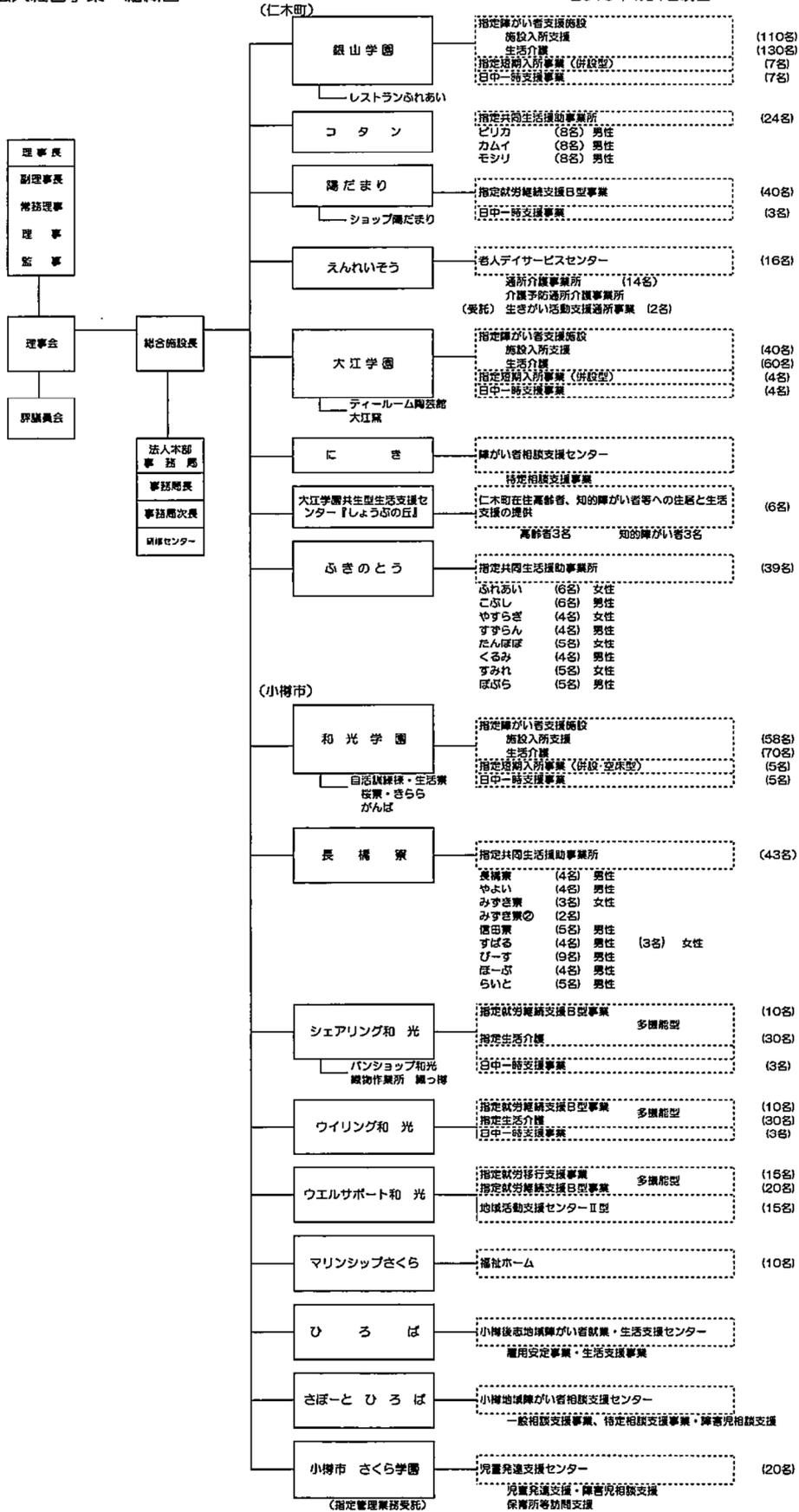
障がい者の就労支援プログラムについて検討し就労移行を推進します。特に自閉症を含む発達障がい者への支援について、その人材の育成を検討します。

法人本部事務局会議

法人の事業計画・財務計画の調整と推進並びに法人運営に係わる全般業務の推進にあたります。また、社会福祉法人制度改革への具体的対応について検討を行っていきます。

法人経営事業・組織図

2016年4月1日現在



平成28年度 理事会・評議員会開催状況

平成28年度 第 1 回

平成28年度 第 1 回

日 時	平成28年5月25日(水) 13:00～15:00		
場 所	ホテルノルド小樽		
理 事 会		出 欠	文 出
理 事 長	山崎 忠顯	○	
常務理事	末澤 弘道	○	
理 事	永富 正	○	
	渡 淳	×	
	富田 重幸	○	
	阪口 光男	○	
	福森 和千代	○	
監 事	藤山 勝光	○	
	曾場 利夫	○	

日 時	平成28年5月25日(水) 10:00～12:00	
場 所	ホテルノルド小樽	
評 議 員 会		出 欠
評議員	河内 正	○
々	荒関 修	○
々	土屋 淑子	○
々	村上 昭一	○
々	伊藤 順子	○
々	永富 正	○
々	渡 淳	×
々	富田 重幸	○
々	阪口 光男	○
々	福森 和千代	○
々	大洞 忠義	○
々	瀬野 淳一	○
々	川瀬 紀幸	○
々	広木 忠雄	○
々	永井 英樹	○

議 長	山崎 忠顯
議事録 署名人	永富 正 福森 和千代

議 長	荒関 修
議事録 署名人	村上 昭一 広木 忠雄

報 告 第1号 監事監査報告
 第2号 平成27年度受託契約の変更及び委託費確定について
 第3号 平成27年度補助事業に係る補助金の確定について
 第4号 未利用国有地の取得要望に対する通知について
 第5号 スチームコンベクションオープンの導入に係る入札結果及び契約について
 第6号 理事長業務執行報告について
 第7号 理事長による専決事項について
 第8号 平成27年度 事業報告について

議 案 第1号 平成27年度積立資産の繰入について
 第2号 平成27年度 社会福祉法人後志報恩会貸借対照表(決算)について
 第3号 平成27年度 社会福祉法人 後志報恩会 社会福祉事業会計 事業活動計算書(決算)
 第4号 平成27年度 社会福祉法人 後志報恩会 公益事業会計 事業活動計算書(決算)
 第5号 平成27年度 社会福祉法人 後志報恩会 社会福祉事業会計 資金収支計算書(決算)
 第6号 平成27年度 社会福祉法人 後志報恩会 公益事業会計 資金収支計算書(決算)
 第7号 平成28年6月期の賞与支給と積立資産の取崩しについて
 第8号 ふきのとう事業所の指定内容の変更に伴う届出について

平成28年度 第 2 回

日 時	平成28年8月29日(月)	15:00～15:30	
場 所	ホテルノルド小樽		
理 事 会			
理 事 長	山崎 忠顯	出 欠	文 出
常務理事	末澤 弘道	○	
理 事	永富 正	○	
	渡 淳	○	
	富田 重幸	○	
	阪口 光男	○	
	福森 和千代	○	
監 事	藤山 勝光	○	
	曾場 利夫	○	

議 長	山崎 忠顯
議事録	阪口 光男
署名人	福森 和千代

報 告

議 案 第1号 建設委員の選任について

平成28年度 第 3 回

平成28年度 第 2 回

日 時	平成28年9月27日(火)		13:00~15:00
場 所	ホテルノルド小樽		
理 事 会			
理事長	山崎 忠顯	○	
常務理事	末澤 弘道	○	
理 事	永富 正	○	
	渡 淳	○	
	富田 重幸	○	
	阪口 光男	○	
	福森 和千代	○	
監 事	藤山 勝光	○	
	曾場 利夫	○	

日 時	平成28年9月27日(火)		10:00~12:00
場 所	ホテルノルド小樽		
評 議 員 会			
評議員	河内 正	○	
	荒関 修	○	
	土屋 淑子	○	
	村上 昭一	×	
	伊藤 順子	○	
	永富 正	○	
	渡 淳	○	
	富田 重幸	○	
	阪口 光男	○	
	福森 和千代	○	
	大洞 忠義	○	
	瀬野 淳一	○	
	川瀬 紀幸	○	
	広木 忠雄	○	
永井 英樹	○		

議 長	山崎 忠顯
議事録	阪口 光男
署名人	福森 和千代

議 長	荒関 修
議事録	瀬野 淳一
署名人	永井 英樹

- | | |
|-----|--|
| 報 告 | 第1号 監事監査報告
第2号 理事長業務執行報告について
第3号 理事長による専決事項について
第4号 法人建物の修繕工事の実施完了について
第5号 第1回建設委員会の報告について
第6号 国有財産(土地)の取得に係る普通財産売払い申請書の提出について
第7号 国有財産(土地)の売払いについて(通知の到来)
第8号 国有財産(土地)の取得に係る擁壁及び地質調査の結果について
第9号 原子力災害時における避難先の確保に向けた調整への同意について
第10号 原子力災害対策事業に係る仁木町との調整内容について
第11号 就業規則の変更について
第12号 第2回理事会報告について(評議員会) |
|-----|--|

- | | |
|-----|---|
| 議 案 | 第1号 基本財産の処分について
第2号 国有財産(土地)の取得及び施設整備事業の実施について
第3号 長橋寮グループホーム建設工事に係る設計監理業務の競争入札の実施について
第4号 福祉避難所の指定に係る協力要請への対応について
第5号 銀山学園車輛(マイクロバス)の導入について
第6号 会計監査人の設置に向けた予備調査の実施について
第7号 社会福祉法人 後志報恩会 社会福祉事業会計 第1次補正予算について
第8号 社会福祉法人 後志報恩会 公益事業会計 第1次補正予算について |
|-----|---|

平成28年度 第 4 回

平成28年度 第 3 回

日 時	平成28年11月16日(水)		15:00~17:00
場 所	ホテルノルド小樽		
理 事 会			
理事長	山崎 忠顯	○	
常務理事	末澤 弘道	×	
理 事	永富 正	○	
	渡 淳	○	
	富田 重幸	○	
	阪口 光男	○	
	福森 和千代	○	
監 事	藤山 勝光	○	
	曾場 利夫	×	

日 時	平成28年11月16日(水)		13:00~15:00
場 所	ホテルノルド小樽		
評 議 員 会			
評議員	河内 正	○	
々	荒関 修	○	
々	土屋 淑子	○	
々	村上 昭一	○	
々	伊藤 順子	○	
々	永富 正	○	
々	渡 淳	○	
々	富田 重幸	○	
々	阪口 光男	○	
々	福森 和千代	○	
々	大洞 忠義	○	
々	瀬野 淳一	○	
々	川瀬 紀幸	○	
々	広木 忠雄	○	
々	永井 英樹	×	

議 長	山崎 忠顯
議事録	渡 淳
署名人	富田 重幸

議 長	荒関 修
議事録	大洞 忠義
署名人	土屋 淑子

- | | |
|-----|---|
| 報 告 | 第1号 監事監査報告
第2号 理事長業務執行報告について
第3号 理事長による専決事項について
第4号 基本財産の処分(承認)について
第5号 建物(基本財産)の贈与契約の完了について
第6号 国有財産(土地)の取得に係る売買契約の完了について
第7号 長橋寮グループホーム建設工事設計監理業務に係入札結果及び業務委託契約の締結について
第8号 第2回建設委員会の報告について
第9号 マイクロバスのリース契約に係る見積合わせの実施果及び契約の締結について
第10号 大江学園トイレ改修工事補助申請に伴う設計事務所の選定について |
|-----|---|

- | | |
|-----|--|
| 議 案 | 第1号 定款の一部変更について
第2号 第三者委員の選任について
第3号 法人の一部規則の全面改正について
第4号 物品の起動申入れへの対応について
第5号 ホイルローダーの導入について
第6号 賞与の支給について
第7号 社会福祉法人 後志報恩会 社会福祉事業会計 第2次補正予算について
第8号 社会福祉法人 後志報恩会 公益事業会計 第2次補正予算について |
|-----|--|

日 時	平成28年12月15日(木)		13:00~15:00
場 所	ホテルノルド小樽		
理 事 会			
理 事 長	山崎 忠顯	○	
常務理事	末澤 弘道	○	
理 事	永富 正	○	
	渡 淳	○	
	富田 重幸	○	
	阪口 光男	○	
	福森 和千代	○	
監 事	藤山 勝光	○	
	曾場 利夫	○	

日 時	平成28年12月15日(木)		10:00~12:00
場 所	ホテルノルド小樽		
評 議 員 会			
評議員	河内 正	○	
々	荒関 修	○	
々	土屋 淑子	○	
々	村上 昭一	○	
々	伊藤 順子	○	
々	永富 正	○	
々	渡 淳	○	
々	富田 重幸	○	
々	阪口 光男	○	
々	福森 和千代	○	
々	大洞 忠義	○	
々	瀬野 淳一	○	
々	川瀬 紀幸	○	
々	広木 忠雄	○	
々	永井 英樹	○	

議 長	山崎 忠顯
議事録	阪口 光男
署名人	福森 和千代

議 長	荒関 修
議事録	伊藤 順子
署名人	広木 忠雄

- | | | |
|-----|---|--|
| 報 告 | 第 1 号
第 2 号
第 3 号

第 4 号
第 5 号
第 6 号
第 7 号 | 理事長による専決事項について
事業所の指定内容の変更に伴う届出及び運営規定・重要事項説明書の改正について
銀山学園ホイルローダー(除雪仕様車)のリース契約に係る
見積合わせの実施結果及び契約の締結について
車輛導入に係る助成金の申請について
放射線防護対策事業に係る要望への回答について
施設改修工事に係る助成金申請について
物品の寄贈申込と受領について |
| 議 案 | 第 1 号
第 2 号 | 法人定款の変更と変更認可申請について
評議員選任・解任委員会運営細則の制定について |

平成28年度 第 6 回

日 時	平成29年3月3日(金) 10:00~12:00		
場 所	ホテルノルド小樽		
理 事 会		出欠	文出
理 事 長	山崎 忠顯	○	
常務理事	末澤 弘道	○	
理 事	永富 正	○	
	渡 淳	○	
	富田 重幸	○	
	阪口 光男	○	
	福森 和千代	○	
監 事	藤山 勝光	○	
	曾場 利夫	○	

議 長	山崎 忠顯
議事録 署名人	末澤 弘道 永富 正

- | | | |
|-----|--------|----------------------------|
| 報 告 | 第 1 号 | 定款変更認可申請に係る認可通知について |
| | 第 2 号 | 社会福祉充実残額の見込みについて |
| | 第 3 号 | 助成金の交付決定について |
| | 第 4 号 | 建設委員会の報告について |
| 議 案 | 第 1 号 | 評議員選任・解任委員の委嘱について |
| | 第 2 号 | 評議員選任・解任委員会の開催について |
| | 第 3 号 | 評議員候補者の推薦について |
| | 第 4 号 | 法人役員(理事・監事)候補者案について |
| | 第 5 号 | 役員等報酬規程案について |
| | 第 6 号 | 定款細則の制定について |
| | 第 7 号 | 評議員選任・解任委員の費用弁償支給基準の制定について |
| | 第 8 号 | 大江学園トイレ改修工事に係る入札について |
| | 第 9 号 | 長橋寮グループホーム建設に係る入札について |
| | 第 10 号 | 施設長の退任について |
| | 第 11 号 | 施設長等の異動並びに選任について |

日 時	平成29年 3月24日(金)		13:00~15:00
場 所	ホテルノルド小樽		
理 事 会			
		出 欠	文 出
理 事 長	山崎 忠顯	○	
常 務 理 事	末澤 弘道	○	
理 事	永富 正	○	
	渡 淳	○	
	富田 重幸	○	
	阪口 光男	○	
	福森 和千代	○	
監 事	藤山 勝光	○	
	曾場 利夫	○	

平成29年 3月24日(金)		10:00~12:00
ホテルノルド小樽		
		出 欠
河内 正		○
荒関 修		○
土屋 淑子		○
村上 昭一		○
伊藤 順子		×
永富 正		○
渡 淳		○
富田 重幸		○
阪口 光男		○
福森 和千代		○
大洞 忠義		○
瀬野 淳一		○
川瀬 紀幸		○
広木 忠雄		○
永井 英樹		×

議 長	山崎 忠顯
議事録 署名人	渡 淳 富田 重幸

荒関 修
河内 正
大洞 忠義

- 報 告
- 第1号 監事監査報告
 - 第2号 理事長業務執行報告
 - 第3号 理事長による専決事項について
 - 第4号 法人評議員選任・解任委員会報告
 - 第5号 指導監査・実地指導結果について
 - 第6号 福祉避難所の指定に係る事務について

- 議 案
- 第1号 入札の結果及び工事請負契約の締結について
 - 第2号 平成28年度積立金の取崩しについて
 - 第3号 平成28年度積立金の計上について
 - 第4号 平成28年度 後志報恩会 社会福祉事業区分 資金収支第3次補正予算について
 - 第5号 平成28年度 後志報恩会 公益事業区分 資金収支第3次補正予算について
 - 第6号 定款細則の制定について（再提出）
 - 第7号 法人経理規程の一部改正について
 - 第8号 法人経理規程細則の一部改正について
 - 第9号 預り金等管理サービス管理規程の改正について
 - 第10号 介護保険法の改正による事業変更について
 - 第11号 運営規程・重要事項説明書の改正について
 - 第12号 事業所運営に係る補助金の交付申請について
 - 第13号 受託事業に係る契約の更新について
 - 第14号 食事サービス業務委託契約の更新について
 - 第15号 平成29年度昇給について
 - 第16号 平成29年度法人事業計画について
 - 第17号 平成29年度 後志報恩会 社会福祉事業区分 資金収支当初予算について
 - 第18号 平成29年度 後志報恩会 公益事業区分 資金収支当初予算について
 - 第19号 平成29年度における経常資金の一時借入について

事業所・施設名称 法人本部

役員・職員研修の実施状況

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの状況

区分	開催年月日	研修内容	講師等	参加職種・氏名	参加人数
役員研修	4月18日	全国経営協障害福祉サービス実践小委員会		理事長	1名
	4月28日	全国経営協障害福祉サービス障害福祉事業経営委員会		理事長	1名
	5月21日-22日	日本ソーシャルワーカー協会年次総会		理事長・事務局次長	2名
	5月31日	全国経営協障害福祉サービス実践小委員会		理事長	1名
	6月17日	全国経営協障害福祉サービス障害福祉事業経営委員会		理事長	1名
	7月7日	社会福祉法人経営セミナー		役員・評議員	9名
	7月26日	全国経営協 北海道・東北ブロック会議		理事長	1名
	8月5日-6日	日本ソーシャルワーカーセミナー		理事長	1名
	9月2日	道社協 社会福祉施設ブロック研修会		理事長	1名
	9月13日-15日	全国経営協 全国経営者大会		理事長・事務局次長	2名
	10月18日-19日	全国経営協 北海道・東北ブロック研修		理事長	1名
	10月24日	全国経営協 障害福祉実践小委員会		理事長	1名
	11月2日	全国経営協 障害福祉経営委員会		理事長	1名
	1月7日-8日	日本ソーシャルワーカー協会新春セミナー		理事長・事務局長	2名
	1月17日	全国経営協 北海道・東北ブロック会長会議		理事長	1名
	1月30日	社会福祉法人経営セミナー		役員・評議員	13名
	1月31日	全国経営協 障害福祉実践小委員会		理事長	1名
	2月15日	全国経営協 障害福祉経営委員会		理事長	1名
	3月16日	全国経営協 協議員総会		理事長	1名
	3月20日	地域福祉フォーラム		役員・評議員 ・第三者委員	9名
内部研修	4月12日	法人自閉症研修会		各施設支援職員	6名
	5月10日	法人自閉症研修会		各施設支援職員	6名
	6月2日~3日	法人新任職員研修会	理事長 ・総合施設長	採用2年以内の職員	19名
	6月14日	法人自閉症研修会		各施設支援職員	6名
	6月14日	法人幹部職員研修	理事長	施設長・部長	23名
	6月15日	法人科長職研修	福森理事 ・総合施設長	科長職	41名

区分	開催年月日	研修内容	講師等	参加職種・氏名	参加人数
内部研修	7月12日	法人自閉症研修会	視察研修	各施設支援職員	6名
	8月5日	法人年数別職員研修		6～7年目の職員	15名
	9月13日	法人自閉症研修会		各施設支援職員	6名
	9月27日	法人役職員研修(制度改革)	さくら総合会計	役員・評議員・幹部職員	24名
	10月11日	法人自閉症研修会	理事長・先輩職員	各施設支援職員	6名
	10月14日	法人年数別職員研修		3年目の職員	21名
	11月7日	法人自閉症研修会	理事長・実践報告	各施設支援職員	6名
	11月8日	法人全体職員研修		全施設職員	159名
	12月13日	法人自閉症研修会		各施設支援職員	6名
	1月24日	法人自閉症研修会		各施設支援職員	6名
	3月14日	法人自閉症研修会		各施設支援職員	6名
法人職員研修	10月3-4日	人材マネジメント講座	WJU監査法人	事務局次長	1名
	10月1日-2日	日本ソーシャルワーカー協会 地方代表者会議・公開セミナー		事務局長	1名
	10月4日	改正社会福祉法対策セミナー		事務局次長	1名
	11月9-10日	全国経営協 監事専門講座		事務局長	1名
	11月19日	社会福祉法人経営学会		事務局長	1名
	11月30～12月4日	大阪府豊中市社会福祉協議会他 視察研修		総合施設長	1名
	2月23日	全国経営協 決算実務講座		事務局長	1名
	2月27日	全国経営協 障害福祉経営セミナー		事務局次長	1名

事業所・施設名称 法人本部

各種会議等の開催状況

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの状況

区分	開催年月日	主な会議内容	司会等	参加人数
法人企画調整会議	8月31日(水)	人材確保対策について	事務局長	8名
	10月20日(木)	理事評議員の構成・人事異動の進め方	事務局長	8名
	11月28日(月)	人材確保対策について・法人業務の執行体制・防犯対策	事務局長	8名
	3月10日(金)	平成29年度の法人運営の体制について	事務局長	7名
法人運営会議	4月20日(水)	4月 運営会議 報告・連絡・相談(調整):各施設(事業所)から、各委員会から 協議:・平成28年度法人運営体制と事業計画の遂行について ・理事会・評議員会の議題について ・安心介護支援規程について ・研修等の取扱いについて ・幹部研修について ・安心と笑顔支援の取り組み(継続事項)、ほか	川瀬施設長	18名
	5月30日(月)	5月 運営会議 報告・連絡・相談(調整):各施設(事業所)から、各委員会から、小樽・仁木地区会議から 協議:・法人の地域活動について ・熊本の震災対応について ・H29年度向け定期採用計画について ・実習受入担当者会議について ・権利擁護指導者養成講座について(調整) ・安心と笑顔支援の取り組み(継続事項)、ほか	川瀬施設長	20名
	6月29日(水)	6月 運営会議 報告・連絡・相談(調整):各施設(事業所)から、各委員会から、小樽・仁木地区会議から 協議:・労働局からのアンケートについて ・芸術祭参加について ・H29年度向け定期採用計画について ・サンモール商店街の催しについて ・総務部長会議より 外勤における勤務時間の取扱い、寒冷地手当の支給区分の整理 ・安心と笑顔支援の取り組み(継続事項) 利用者さんとの面談、差別解消法、ほか	川瀬施設長	20名
	7月27日(水)	7月 運営会議 報告・連絡・相談(調整):各施設(事業所)から、各委員会から、小樽・仁木地区会議から、他 協議:・法人職員の採用計画について ・旅費規程の取扱いについて ・安心と笑顔支援の取り組みについて ・差別解消法の周知について ・緊急避難的行為のマニュアルについて、ほか	川瀬施設長	17名
	8月17日(水)	8月 運営会議 報告・連絡・相談(調整):各施設(事業所)から、各委員会から、小樽・仁木地区会議から、他 協議:・メンター制度について ・正規職員登用試験について ・施設の安全管理体制について ・ホームページの管理体制について ・次年度の組織体制について ・コミュニケーション面談について、ほか	川瀬施設長	16名

区分	開催年月日	主な会議内容	司会等	参加人数
法人運営会議	9月21日(水)	9月 運営会議 報告・連絡・相談(調整):各施設(事業所)から、各委員会から、小樽・仁木地区会議から、他 協議:・正規職員登用試験について ・理事会、評議員会の報告、議案について ・GHたんぼぼの利用案について ・職員資格助成制度について ・安心と笑顔支援の取り組み(継続事項)、ほか	川瀬施設長	17名
	10月26日(水)	10月 運営会議 報告・連絡・相談(調整):各施設(事業所)から、各委員会から、小樽・仁木地区会議から、他 協議:・防犯防災衛生対策について ・法人コミュニケーション面談について ・理事会、評議員会の議題について ・安心と笑顔支援の取り組み(継続事項)、ほか	川瀬施設長	21名
	11月30日(水)	11月 運営会議 報告・連絡・相談(調整):各施設(事業所)から、各委員会から、小樽・仁木地区会議から、他 協議:・平成28年度事業計画の取り組みについて ・組織強化の打合わせ等について ・ハラスメント防止規程の制定について ・安心と笑顔支援の取り組み(継続事項)、ほか	川瀬施設長	16名
	1月23日(月)	1月 運営会議 報告・連絡・相談(調整):各施設(事業所)から、各委員会から、小樽・仁木地区会議から、他 協議:・平成29年度定期採用計画について ・平成28年度事業報告及び平成29年度事業計画について ・安心と笑顔支援の取り組み(継続事項)、ほか	川瀬施設長	20名
	2月27日(月)	2月 運営会議 報告・連絡・相談(調整):各施設(事業所)から、各委員会から、小樽・仁木地区会議から、他 協議:・正規職員登用試験について ・平成30年度定期採用計画について ・平成28年度事業報告及び平成29年度事業計画について ・地域福祉フォーラムの運営体制について ・安心と笑顔支援の取り組み(継続事項)、ほか	川瀬施設長	19名
	3月29日(水)	3月 運営会議 報告・連絡・相談(調整):各施設(事業所)から、各委員会から、小樽・仁木地区会議から、他 協議:・平成29年度定期採用者への経過措置について ・平成28年度事業報告、平成29年度予算・財務計画、法人経営・運営体制について ・安心と笑顔支援の取り組み(継続事項)、ほか	川瀬施設長	20名
	総務部長会議	4月26日(火)	4月総務部科長会議 報告・確認 理事会・監事監査、指名競争入札に係る申し立ての取り扱いについて 他 協議 利用者マイナンバーの取り扱い、人件費積立金の取り扱い、預り金管理規程について 他	臼屋 嘉則
5月18日(水)		5月総務部科長会議 報告・確認 さくら総合会計巡回監査報告、理事会・監事監査について 他 協議 外勤時の超過勤務、利用者マイナンバーの取り扱い、人件費積立金の取り扱い、預り金管理規程について 他	臼屋 嘉則	6名
6月22日(水)		6月総務部科長会議	臼屋 嘉則	5名

区分	開催年月日	主な会議内容	司会等	参加人数
総務部長会議	7月26日(水)	報告・確認 賞与積立金の取り崩し、内部取引仕訳、安全衛生推進者研修について、他 協議 利用者マイナンバーの取り扱い、預り金管理規程について 他 7月総務部科長会議	臼屋 嘉則	5名
	8月31日(水)	報告・確認 さくら総合会計巡回監査報告、理事会・監事監査について 他 協議 預り金管理規程案について、外勤時の労働時間の取扱いについて 他 8月総務部科長会議	臼屋 嘉則	5名
	9月28日(水)	報告・確認 理事会評議員会について、他 協議 法人本部運営費について、外勤時の労働時間の取扱いについて、預り金管理規程案について 他 9月総務部科長会議	臼屋 嘉則	5名
	10月28日(金)	報告・確認 さくら総合会計巡回監査報告、理事会・監事監査について、法人本部運営費について 他 協議 預り金管理規程について、会計監査人予備調査について 他 10月総務部科長会議	臼屋 嘉則	5名
	12月2日(金)	報告・確認 理事会評議員会について、他 協議 育児休業法の改正に伴う規則の改正について、会計監査人予備調査について、預り金管理規程案について 他 12月総務部科長会議	臼屋 嘉則	5名
	1月27日(金)	報告・確認 さくら総合会計巡回監査報告、育児・介護休業に関する規則について、賞与の支給について 他 協議 預り金管理規程について、会計監査人予備調査について、他 1月総務部科長会議	臼屋 嘉則	5名
	2月15日(水)	報告・確認 さくら総合会計巡回監査報告、理事会・評議員会の予定及び報告・議案、賞与の支給について 他 協議 預り金管理規程について、アスベスト等使用実態調査について、他 2月総務部科長会議	臼屋 嘉則	9名
	3月21日(火)	報告・確認 他 協議 預り金管理規程について、他 3月総務部科長会議	臼屋 嘉則	5名
			報告・確認 さくら総合会計巡回監査報告、決算業務における留意事項について 他 協議 預り金管理規程について、他	
医療・食生活支援科連絡会議	8月2日(火)	第1回 法人医療・栄養会議 ①各事業所からの報告 ②昼食の検食結果について ③平成28年度経営計画の確認について ④各事業所の栄養マネジメントの取り組みの検証について	高橋 雅人	7名
	11月8日(火)	第2回 法人医療・栄養会議 ①各事業所からの報告 ②昼食の検食結果について ③支援現場との連携について ④新型インフルエンザ等特別措置法に基づく 特定接種の登録について	高橋 雅人	7名
	2月7日(火)	第3回 法人医療・栄養会議 ①各事業所からの報告 ②昼食の検食結果について ③支援現場との連携について	高橋 雅人	7名

区分	開催年月日	主な会議内容	司会等	参加人数
		④平成29年度事業計画について		

事業所・施設名称 法人本部

各種委員会の開催状況

平成28年4月1日から平成30年3月31日までの状況

区分	開催年月日	主な会議内容	司会等	参加人数
法人研修委員会	4月18日(月)	第1回研修委員会 ①各事業所報告・連絡事項 ②平成28年度職場研修計画(確認) ③法人内交換研修について ④H28年度新任職員研修の企画について	櫻井 幸治	6名
	5月13日(金)	第2回研修委員会 ①各事業所研修状況 ②H28年度新任職員研修について ③H28年度3年目研修について ④H28年度6,7年目研修について ⑤H28年度法人全体研修について	板岡 宏教	4名
	6月6日(月)	第3回研修委員会 ①各事業所研修状況 ②H28年度新任職員研修の振り返り ③7月の重点目標 ④H28年度6,7年目研修について ⑤H28年度3年目研修について ⑥H28年度法人全体研修について	板岡 宏教	4名
	7月4日(月)	第4回研修委員会 ①各事業所研修状況 ②8月の重点目標(知的障害者の支援するための行動規範) ③年数別(6~7年目)職員研修について ④年数別(3年目)職員研修について ⑤法人全体研修について、他	板岡 宏教	4名
	8月4日(月)	第5回研修委員会 ①各事業所研修状況 ②9月の重点目標(障害を理解する) ③年数別(6~7年目)職員研修について ④年数別(3年目)職員研修について ⑤法人全体研修について ⑥法人内交換研修について、他	板岡 宏教	4名
	9月5日(月)	第6回研修委員会 ①各事業所研修状況 ②10月の重点目標(障害を理解する、継続) ③年数別(6~7年目)職員研修についての振り返り ④年数別(3年目)職員研修について ⑤法人全体研修について、他	板岡 宏教	4名
	10月3日(月)	第7回研修委員会 ①各事業所研修状況 ②11月の重点目標(専門職としての態度を知る・伝える) ③年数別(3年目)職員研修について ④法人全体研修について、他	板岡 宏教	4名
	11月1日(火)	第8回研修委員会 ①各事業所研修状況 ②12月の重点目標(障害のある方の支援するための行動規範) ③年数別(3年目)職員研修 ④法人全体研修について、他	板岡 宏教	4名

区分	開催年月日	主な会議内容	司会等	参加人数
法人研修委員会	2月6日(月)	第9回研修委員会 ①各事業所研修状況 ②2月の重点目標(ライフスタイルに応じた支援) ③法人全体研修について(振り返り) ④事例集の作成について ⑤平成29年度の法人研修委員会重点項目、事業計画	板岡 宏教	4名
	3月6日(月)	第10回研修委員会 ①各事業所研修状況 ②3月の重点目標(意思決定支援～より良い支援を目指して) ③事例集の作成について ④平成29年度の法人研修委員会重点項目、事業計画	板岡 宏教	4名
法人リスクマネジメント委員会	4月12日(火)	第1回リスクマネジメント委員会 【報告:連絡事項】 ①前回記録の確認 ②前回以降のひやりハット事例報告 【協議題】 (1)H27年度のまとめ・事例集 (2)H28年度事業計画について ・ひやりハット年間テーマの確認と月間テーマについて ・ほっとする事例について ・第三者委員の研修について	広木 忠雄	5名
	5月11日(水)	第2回リスクマネジメント委員会 【報告:連絡事項】 ①前回記録の確認 ②前回以降のひやりハット事例報告 【協議題】 (1)5月、6月の月間重点項目 (2)H28年度委員会事業について ・ほっとする事例の収集について ・第三者委員研修会について (3)ひやりハット、事故報告の基準について	小菅 敦史	4名
	6月8日(水)	第3回リスクマネジメント委員会 【報告:連絡事項】 ①前回記録の確認 ②前回以降のひやりハット事例報告 【協議題】 (1)6月、7月の月間重点項目について (2)「過去の重大事故」を風化させないために (3)ほっとする事例の募集について (4)事故、ひやりハットの報告方法について	小菅 敦史	4名
	7月13日(水)	第4回リスクマネジメント委員会 【報告:連絡事項】 ①前回記録の確認 ②前回以降のひやりはっと事例報告 【協議題】 (1)8月、9・10月の月間重点項目について (2)「過去の重大事故」を風化させないために (3)ほっとする事例の収集について (4)事故、ひやりはっと報告の基準について、他	小菅 敦史	4名
	8月10日(水)	第5回リスクマネジメント委員会 【報告:連絡事項】 ①前回記録の確認 ②前回以降のひやりはっと事例報告 【協議題】 (1)9月の月間重点項目について (2)「過去の重大事故」を風化させないために (3)ほっとする事例の収集について (4)第三者委員研修会について、他	小菅 敦史	4名

区分	開催年月日	主な会議内容	司会等	参加人数
法人 リスク マネジ メント 委員 会	9月14日(水)	第6回リスクマネジメント委員会 【報告:連絡事項】 ①前回記録の確認 ②前回以降のひやりはっと事例報告 【協議題】 (1)10月の月間重点項目について (2)「過去の重大事故」を風化させないために (3)ホットする事例の募集について (4)第三者委員研修会について	小菅 敦史	4名
	10月12日(水)	第7回リスクマネジメント委員会 【報告:連絡事項】 ①前回記録の確認 ②前回以降のひやりはっと事例報告 【協議題】 (1)11月の月間重点項目(転倒・転落事故を防ぐために) (2)「過去の重大事故」を風化させないために (3)リスクの状況や対策方法を学ぶ(施設見学)	小菅 敦史	4名
	11月9日(水)	第8回リスクマネジメント委員会 【報告:連絡事項】 ①前回記録の確認 ②前回以降のひやりはっと事例報告 【協議題】 (1)11月の月間重点項目(行動規範) (2)「過去の重大事故」を風化させないために (3)第三者委員研修会について	小菅 敦史	4名
	1月18日(水)	第9回リスクマネジメント委員会 【報告:連絡事項】 ①前回記録の確認 ②前回以降のひやりはっと事例報告 【協議題】 (1)2月の月間重点項目(危険物の安全な取扱いと保管) (2)「過去の重大事故」を風化させないために (3)第三者委員研修会について、他	小菅 敦史	4名
	2月8日(水)	第8回リスクマネジメント委員会 【報告:連絡事項】 ①前回記録の確認 ②前回以降のひやりはっと事例報告 【協議題】 (1)11月の月間重点項目(行動規範) (2)「過去の重大事故」を風化させないために (3)第三者委員研修会について	小菅 敦史	4名
	3月8日(水)	第8回リスクマネジメント委員会 【報告:連絡事項】 ①前回記録の確認 ②前回以降のひやりはっと事例報告 【協議題】 (1)11月の月間重点項目(行動規範) (2)「過去の重大事故」を風化させないために (3)第三者委員研修会について	小菅 敦史	4名

各種会議等の開催状況

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの状況

区分	開催年月日	主な会議内容	司会等	参加人数
法人建設委員会	9月16日	第1回建設委員会 (1)委員長、副委員長の選任について (2)権限及び業務の範囲について(確認事項) (3)小樽地区施設整備計画について ①未利用国有地の取得について ②グループホーム及び就労支援施設の建設計画について (4)グループホーム建設に係る設計監理契約の入札について (5)銀山学園放射線事故時の避難所に係る整備要望について (6)大江学園トイレ改修補助申請に係る設計契約について	富田委員長	10名
	10月12日	第2回建設委員会 (1)グループホーム建設に係る設計監理の入札結果について (2)実施設計・工事監理業務委託契約の締結について (3)国有地の売買契約締結日について	富田委員長	9名
	12月15日	第3回建設委員会 (1)長橋寮グループホーム建設工事実施設計 中間報告について (2)その他	富田委員長	12名
	1月26日	第4回建設委員会 (1)長橋寮グループホーム建設工事実施設計最終案 について (2)長橋寮グループホーム建設工事入札執行について (3)大江学園トイレ改修工事に係る入札等の準備について (4)その他	富田委員長	12名
	3月24日	第5回建設委員会 (1)長橋寮グループホーム建設工事の 入札公告結果について (2)長橋寮グループホーム建設工事の 入札参加資格審査について (3)その他 入札執行の確認について	富田委員長	9名